

平成26年度 横浜市公園愛護会表彰式



横浜市

はじめに

横浜市の公園愛護会制度は、その創設より半世紀を越え、市内に広く定着しています。これは、単なる歴史の積み重ねではなく、日頃からの皆様の地道な御努力や熱意ある取組によって支えられ続けてきた賜物であるということは言うまでもありません。ここに改めて、皆様に深く感謝を申し上げます。今後も、皆様の活動の発展に対し、できる限りの御支援をさせていただき、皆様が健康で、生き活きと、そして末永く、公園愛護会の活動に取り組まれていかれますことを祈念いたします。

《横浜市公園愛護会表彰》

横浜市公園愛護会表彰は、日頃、公園の愛護活動や公園施設の管理・運営に御尽力いただいている個人・団体の皆様に対して、感謝の意を込めて市長からの表彰を行うものです。

◇個人表彰◇

個人表彰は昭和53年度から行っています。公園の美化や保全などの公園管理に貢献され、愛護会長を継続して10年以上務めていただいた方を表彰するもので、本年度は38名の方が受賞されます。

◇団体表彰◇

団体表彰は平成14年度から行っています。

- ①公園の清掃や除草、花壇の整備など、公園の維持、整備活動に努めていただいている団体
- ②子育ての支援や伝統文化の振興に寄与する活動など、公園を活用した、魅力あるまちづくりに努めていただいている団体
- ③公園の自然環境を管理活用し、良好な自然、みどりある環境づくりやその普及啓発に努めていただいている団体

のいずれかに該当し、原則5年以上活動している、他の愛護会の模範となる団体を表彰するもので、本年度は37団体が受賞されます。

横浜市の公園愛護会制度の歴史は古く、全国に先駆けて昭和36年に創設され、今年度は制度創設53年目にあたります。当時、市内の公園数は135で、現在のおよそ20分の1程度しかありませんでした。その後50年ほどが経過した平成26年3月31日現在、横浜市内には2,638の公園があり、2,417の愛護会が結成されています。愛護会の数は年々増加傾向にあり、結成率は約9割となっています。公園数の増加にともなって、新たに結成される愛護会もしっかりと増え続けています。

近年では、保育園や幼稚園、小学校など地域の子供たちとの世代間交流を積極的に行う愛護会も増えてきています。活動が活発な公園愛護会では、地元の町内会や子供会、PTA、福祉団体、商店会などと連携したり、有志が集まってほかの公園愛護会の活動をサポートしたり、樹林地の維持管理を行う事例もあります。活動の内容を見ても、地域の行事や健康づくりへの取組に広がったり、活動の場所も、通学路の見守りなど、公園の周辺地域に展開しており、地域のつながりを深める役割を担う愛護会も多くなりました。

現在、横浜市では、健康寿命日本一の都市を目指し、「370万人市民の健康づくり」を進めています。地域に身近な公園は、暮らしの間近にある大切な「健康づくりの場」でもあります。公園愛護会の皆様が今後も元気で活動を続けていただけたらと願っています。

環境保全活動に対する関心が高まる中、皆様が継続してこられた公園愛護活動はその模範となる活動の一つとなっています。今後も各公園愛護会の皆様に、地域の庭とも言える公園を、横浜市と共に愛し護っていただけますようお願い申し上げます。



目次

◆ はじめに	1
◆ 平成 26 年度横浜市公園愛護会表彰式次第	4
◆ 個人表彰受賞者・団体表彰受賞愛護会一覧	5
◆ 団体表彰受賞愛護会の活動紹介	15
○ 貨物線の森緑道愛護会（鶴見区）	17
○ 駒岡岩瀬公園愛護会（鶴見区）	18
○ 片倉うさぎ山公園愛護会（神奈川区）	19
○ 山王森公園愛護会（神奈川区）	20
○ 松見町三丁目・松見みはらし公園愛護会（神奈川区）	21
○ ポートサイド公園愛護会（神奈川区）	22
○ 追分公園愛護会（西区）	23
○ 豆口台公園愛護会（中区）	24
○ 清水ヶ丘ふれあい公園愛護会（南区）	25
○ 別所さくら・別所第五・別所矢畑・六ツ川二丁目南公園愛護会（南区）	26
○ 榎戸公園愛護会（港南区）	27
○ 四反田公園愛護会（港南区）	28
○ 美晴台公園愛護会（港南区）	29
○ 天王町駅前・岩間町公園愛護会（保土ヶ谷区）	30
○ 仏向矢シ塚公園愛護会（保土ヶ谷区）	31
○ 善部町第一・善部町第二公園愛護会（旭区）	32
○ 桧山公園愛護会（旭区）	33
○ 滝頭二丁目公園愛護会（磯子区）	34
○ 洋光台緑地トンボ池愛護会（磯子区）	35
○ 洲崎公園愛護会（金沢区）	36
○ 関ヶ谷の辻公園愛護会（金沢区）	37
○ 能見台北公園愛護会（金沢区）	38
○ 新横浜駅前公園愛護会（港北区）	39
○ 日吉の丘公園愛護会（港北区）	40
○ 師岡沼上耕地第二公園愛護会（港北区）	41
○ 白山町高倉公園愛護会（緑区）	42
○ 柿の木台第一・柿の木台第二・柿の木台第三公園愛護会（青葉区）	43
○ 桂台二丁目・桂台二丁目第三公園愛護会（青葉区）	44
○ 黒須田前田・黒須田坂下公園愛護会（青葉区）	45
○ ささぶねのみち長坂地区公園愛護会（都筑区）	46
○ ゆうばえのみち富士見が丘公園愛護会（都筑区）	47
○ 大正公園愛護会（戸塚区）	48
○ 鳥が丘第二公園愛護会（戸塚区）	49
○ 平戸坂下公園愛護会（戸塚区）	50
○ 鮠川公園愛護会（栄区）	51
○ 中田町第五公園愛護会（泉区）	52
○ 阿久和大原公園愛護会（瀬谷区）	53

平成26年度横浜市公園愛護会表彰式 次第

日時：平成26年11月7日（金）
13時30分～16時00分
会場：横浜情報文化センター情文ホール

【第一部】 13：30～14：25

表彰式典

1 開 式

2 表 彰

(1) 個人表彰

(2) 団体表彰

3 横浜市副市長祝辞

4 記念写真撮影

5 閉 式

【休 憩】 14：25～14：45

【第二部】 14：45～16：00

アトラクション 「口笛とピアノのセッション」
横浜サウンドストリーム

講演会 「公園愛護会活動向け健康づくりプログラム」
健康運動指導士 黒田 恵美子氏

個人表彰受賞者・団体表彰受賞愛護会一覧

平成 26 年度横浜市公園愛護会表彰
個人表彰受賞者一覧

【敬称略】

区 名	受 賞 者 名	愛 護 会 名
鶴 見 区	村 上 武 廣	栄 町 公 園 愛 護 会
西 区	池 田 弘 喜	境 之 谷 公 園 愛 護 会
	岩 崎 忠 雄	戸 部 公 園 愛 護 会
中 区	柳 澤 宏 行	石 川 町 五 丁 目 公 園 愛 護 会
	永 田 正	加 曾 台 公 園 愛 護 会
		池 袋 第 二 公 園 愛 護 会
南 区	矢 口 台 公 園 愛 護 会	
	加 藤 義 明	中 村 東 公 園 愛 護 会
	川 崎 裕 司	平 楽 公 園 愛 護 会
	中 村 宣 吉	真 金 町 公 園 愛 護 会
港 南 区	齊 藤 晴 久	三 春 台 第 二 公 園 愛 護 会
		立 野 第 一 公 園 愛 護 会
		立 野 第 二 公 園 愛 護 会
		立 野 第 三 公 園 愛 護 会
	中 島 淑 子	立 野 第 四 公 園 愛 護 会

平成 26 年度横浜市公園愛護会表彰
個人表彰受賞者一覧

【敬称略】

区 名	受 賞 者 名	愛 護 会 名
保土ヶ谷区	小西 哲男	向台第三公園愛護会
	内田 智男	神戸町第二公園愛護会
	石川 金作	新井町千貫丸公園愛護会
	市川 春實	瀬戸ヶ谷つつじ公園愛護会
		瀬戸ヶ谷町第二公園愛護会
	大泉 英一	天王町公園愛護会
天王町南公園愛護会		
天王町北公園愛護会		
吉田 文信	今井の丘公園愛護会	
	新桜ヶ丘第一公園愛護会	
	新桜ヶ丘第二公園愛護会	
旭 区	玉田 和男	善部町南公園愛護会
港北区	新井 健司	高田公園愛護会
	片山 吉晴	樽町札之下公園愛護会
	佐々木 茂子	高田上耕地第二公園愛護会
緑 区	井上 敏正	いぶき野第一公園愛護会
		いぶき野第二公園愛護会
		いぶき野第三公園愛護会
		いぶき野第四公園愛護会
		いぶき野第五公園愛護会
		いぶき野第六公園愛護会

平成 26 年度横浜市公園愛護会表彰
個人表彰受賞者一覧

【敬称略】

区 名	受 賞 者 名	愛 護 会 名
青 葉 区	井 上 公 一	大 入 公 園 愛 護 会
	相 合 谷 和 子	鴨 志 田 第 六 公 園 愛 護 会
	中 山 隆 史	み ず ず が 丘 公 園 愛 護 会
	山 本 和 男	美 し が 丘 西 よ も ぎ ひ だ ま り 公 園 愛 護 会
	村 木 進	保 木 公 園 愛 護 会 美 し が 丘 西 保 野 公 園 愛 護 会 美 し が 丘 西 保 野 第 二 公 園 愛 護 会
都 筑 区	稲 野 晴 久	川 和 富 士 公 園 愛 護 会
	大 場 工	牛 久 保 あ や め 公 園 愛 護 会
	濱 口 兼 雄	北 山 田 じ ゃ ん け ん 公 園 愛 護 会
	新 美 康 明	北 山 田 な が れ ぼ し 公 園 愛 護 会
	栗 原 紘 二	北 山 田 か く れ ん ぼ 公 園 愛 護 会 山 田 富 士 公 園 愛 護 会
	神 田 秀 夫	中 川 ゆ う ひ が お か 公 園 愛 護 会 山 崎 公 園 愛 護 会 山 崎 公 園 山 崎 の 池 公 園 愛 護 会 宿 之 入 公 園 愛 護 会

平成 26 年度横浜市公園愛護会表彰
個人表彰受賞者一覧

【敬称略】

区 名	受 賞 者 名	愛 護 会 名
戸 塚 区	細 井 勇 三	舞 岡 下 谷 公 園 愛 護 会
	安 西 重 雄	鳥 が 丘 第 二 公 園 愛 護 会
	新 田 み どり	天 王 山 公 園 愛 護 会
栄 区	舟 田 正 男	飯 島 町 第 一 公 園 愛 護 会
		飯 島 町 第 二 公 園 愛 護 会
泉 区	飯 嶋 一 雄	和 泉 町 第 三 公 園 愛 護 会
瀬 谷 区	梅 本 幸 洋	三 ッ 境 第 六 公 園 愛 護 会

平成 26 年度横浜市公園愛護会表彰
団体表彰受賞愛護会一覧

【敬称略】

区 名	愛 護 会 名
鶴 見 区	貨 物 線 の 森 緑 道 愛 護 会
	駒 岡 岩 瀬 公 園 愛 護 会
神 奈 川 区	片 倉 う さ ぎ 山 公 園 愛 護 会
	山 王 森 公 園 愛 護 会
	松 見 町 三 丁 目 公 園 愛 護 会 松 見 み は ら し 公 園 愛 護 会
	ポ ー ト サ イ ド 公 園 愛 護 会
西 区	追 分 公 園 愛 護 会
中 区	豆 口 台 公 園 愛 護 会
南 区	清 水 ケ 丘 ふ れ あ い 公 園 愛 護 会
	別 所 さ く ら 公 園 愛 護 会
	別 所 第 五 公 園 愛 護 会
	別 所 矢 畑 公 園 愛 護 会 六 ツ 川 二 丁 目 南 公 園 愛 護 会
港 南 区	榎 戸 公 園 愛 護 会
	四 反 田 公 園 愛 護 会
	美 晴 台 公 園 愛 護 会

平成 26 年度横浜市公園愛護会表彰
団体表彰受賞愛護会一覧

【敬称略】

区 名	愛 護 会 名
保土ヶ谷区	天王町駅前公園愛護会
	岩間町公園愛護会
	仏向矢シ塚公園愛護会
旭 区	善部町第一公園愛護会
	善部町第二公園愛護会
	桧山公園愛護会
磯 子 区	滝頭二丁目公園愛護会
	洋光台緑地トンボ池愛護会
金 沢 区	洲崎公園愛護会
	関ヶ谷の辻公園愛護会
	能見台北公園愛護会
港 北 区	新横浜駅前公園愛護会
	日吉の丘公園愛護会
	師岡沼上耕地第二公園愛護会
緑 区	白山町高倉公園愛護会

平成 26 年度横浜市公園愛護会表彰
団体表彰受賞愛護会一覧

【敬称略】

区 名	愛 護 会 名
青 葉 区	柿 の 木 台 第 一 公 園 愛 護 会
	柿 の 木 台 第 二 公 園 愛 護 会
	柿 の 木 台 第 三 公 園 愛 護 会
	桂 台 二 丁 目 公 園 愛 護 会
	桂 台 二 丁 目 第 三 公 園 愛 護 会
	黒 須 田 前 田 公 園 愛 護 会 黒 須 田 坂 下 公 園 愛 護 会
都 筑 区	さ さ ぶ ね の み ち 長 坂 地 区 公 園 愛 護 会
	ゆ う ば え の み ち 富 士 見 が 丘 公 園 愛 護 会
戸 塚 区	大 正 公 園 愛 護 会
	鳥 が 丘 第 二 公 園 愛 護 会
	平 戸 坂 下 公 園 愛 護 会
栄 区	颯 川 公 園 愛 護 会
泉 区	中 田 町 第 五 公 園 愛 護 会
瀬 谷 区	阿 久 和 大 原 公 園 愛 護 会



団体表彰受賞愛護会の活動紹介



鶴見区 貨物線の森緑道愛護会



公園の特徴

貨物専用線の鉄道敷地跡に整備された緑道です。工業地帯の真ん中に緑を配した遊歩道として、まちに彩を添えています。

活動の紹介

鶴見区から神奈川区にまたがる貨物線の森緑道では、「貨物線の森ファン倶楽部」が活動しています。この団体を母体として、貨物線の森緑道愛護会が結成され、活動しています。

緑道清掃だけにとどまらず、市の支援・アドバイスを心得、緑道延伸整備予定地に多様な生物をはぐくむ水辺のビオトープを設け、環境整備などを展開しています。

春先には、野草の観察などを実施しており、外来種の見分け方や、花や草木の有効な手入れ方法などについて周知する環境活動教育に取り組んでいます。

鶴見京浜臨海部で「京浜の森づくり」の一環として進められている「トンボの生態調査」にも参画しています。トンボの生態観察・調査を通して、生態系の中のビオトープの有用性・重要性についても、啓発活動に取り組んでいます。

平成26年度は、鶴見区関係部署と連携して「トンボ捕り大作戦2014」を、夏休み向けイベントとして開催しました。また、ビオトープの大切さを次世代に伝える「トンボでつなぐ京浜の森10年の記録」を、地域向け冊子として作成しています。

ほかにも近隣の小学生と協働し、どんぐりから苗木を育てる森づくり活動にも取り組んでいます。

公園愛護会の活動領域を超え、積極的に地域の環境啓発活動に取り組んでいる団体です。

活動の様子



手作りビオトープを観察



花壇づくりの様子



作業の合間のひと休み

◇ 活動公園 ◇

大黒町18番地の1 / 貨物線の森緑道(緑道)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成20年6月29日



鶴見区 駒岡岩瀬公園愛護会



活動の様子



夏祭りにはお神輿の拠点になる



園内の様子



芝生の手入れも欠かさない

公園の特徴

鶴見区の郊外、住宅地の中にある公園です。
シンボルツリーとしてケヤキと桜が公園中央にあります。周囲には芝生が敷かれ、ツツジやサツキ、ユキヤナギ、シャクナゲ、紅梅などが季節の花を咲かせて公園を彩ります。

活動の紹介

駒岡岩瀬公園愛護会は、町内会と子供会が協働で活動しています。

芝刈りや草取り、低木の剪定を年4回にわたり行っています。芝生の部分が多く、その手入れに力を入れており、夏季には愛護会長が先導して刈払機を用いて、芝を刈り込んでいます。一回あたり45ℓごみ袋30袋分の草取りごみが出ます。

周囲が戸建て住宅に接しているため、公園外周の雑草や樹木には特に気を配りながら、草刈りや枝葉の剪定を実施しています。

一年を通して全体景観を考え、美観を保っていけるよう、清掃活動に日々取り組んでいる愛護会です。

夏休みには子供会のラジオ体操の会場となるほか、地域の夏祭りではお神輿の拠点に、また、秋の防災訓練では避難訓練の場所として利用されています。

活力にあふれた地域になくてはならない公園となっており、愛護会もその発展の一翼を担っています。

また、子供たちがいつでも安心して安全に遊べるように、公園の見守り活動にも取り組んでいます。

◇ 活 動 公 園 ◇

駒岡四丁目2342-1 / 駒岡岩瀬公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成10年3月31日



神奈川県 片倉うさぎ山公園愛護会



公園の特徴

神奈川県片倉町の南側高台に位置し、都心周辺部の住宅地内にあります。豊かな自然環境が残されていて、数多くの野鳥や昆虫が観察できます。

園内ではプレイパークが開催され、広い多目的広場もあるので、子供たちの利用がとても多い公園です。

活動の紹介

公園愛護会・プレイパークを運営するあそび場管理運営委員会・多目的広場管理運営委員会が、月に2回合同で清掃を行うなど、一体となって活動しています。一体的な活動を開始して13年ほどが経過し、継続的な活動が、地域のつながりを感じさせてくれます。

園内で遊ぶ子供たちに積極的に声かけを行い、マナー指導などを継続的に実施して、ごみの少ない公園を維持しています。

様々な年代が集まり、賑やかで楽しい雰囲気の公園になっています。色々な人たちと交流ができるので、親子連れにとっては、親と子供それぞれのリフレッシュの場となっています。

今年度、ヨコハマ市民まち普請事業により園内に防災井戸を自主設置しました。この施設の活用を通して、地域住民の防災意識向上を図るとともに、公園愛護会と幅広い住民層との連携向上に努めています。

プレイパークでは、地域の協力のもと様々なイベントを開催し、賑わっています。そのかいもあり、子供たちが楽しく遊べる雰囲気づくりができています。自由な遊びを通じて、子供たちが公園内で様々な事を学ぶ様子が見受けられます。

活動の様子



井戸をつくる様子



プレイパークでどろんこ遊びをする子供たち



流しそうめんの様子

◇ 活 動 公 園 ◇

片倉二丁目42 / 片倉うさぎ山公園(地区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成13年3月23日



神奈川県 山王森公園愛護会



活動の様子



花苗を植える準備の様子



集めた落ち葉で焼き芋大会を行った



樹名板づくりの様子

公園の特徴

自然豊かな丘陵地を有する公園で、手入れの行き届いた花壇を始めとして、園内全体が快適に維持されています。親子連れも多く訪れ、地域の皆さんに愛されている公園です。

活動の紹介

愛護会新制度の初年度から「花壇づくり」を行うなど、活動に積極的に取り組んでいます。この春、サイズも大きくして更新した花壇には、バリエーションに富んだ花苗が植えられ、「いつもキレイな花が咲く公園」として評判となり、口コミで近隣の区からも来園するほど人気を集めています。

定例の公園清掃に加え、見かけたごみは直ぐに取り除くことを日課としています。子供たちにもボール遊びのマナー指導などを行った結果「いつもキレイで安全な公園」を提供できるまでになりました。乳幼児の親子連れにも好評で、年々利用者が増え続けています。

公園を利用する子供たちに「もっと公園に関心を持つ機会を設けたい」との意図で、園内に25枚の樹名板を設置しました。樹名書きには、近隣の小学生や未就学児に参加を呼びかけ、五月晴れと賑わいの中、多くの家族と一緒に楽しむことができました。

樹名板の裏面には、名前と記念の日付を記入してもらいました。自分でつくった作品は愛着が湧き、公園に関心が向きます。樹名板づくりを通して、環境教育を実践することができました。

会長を中心とした愛護会活動は、「地域の公園」づくりに積極的に、これまでに刈払機の安全講習や堆肥置き場づくりに始まり、今年5月の樹名板づくりや6月に実施した13公園合同による中低木の管理講習など多くの技術支援を受講することで、学んだ知識や経験を公園の自然環境づくりに生かす努力を行っています。こうした多様な活動に取り組む姿勢は、公園づくりに励む他の愛護会の良きモデルとして紹介できます。

少子高齢化の進むこの地域に、近隣地域まで輪を拡げ「焼き芋大会」や「流しそうめん大会」などのイベントを企画実施しています。手作りのチラシでのPRや公園での声かけが効果を上げ、多くの参加者で「にぎやかさと活気」を取り戻しています。

◇ 活 動 公 園 ◇

三枚町108-5 / 山王森公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和61年6月14日



公園の特徴

松見町三丁目公園は住宅街に隣接した公園で、「地域の活動拠点」として、年間行事が多く開催されています。

松見みはらし公園は、「宅地開発より自然を残す」「自然から学び成長する子供たちを育てたい」と地域が希望してできました。雑木林が残る自然豊かな斜面地と遊歩道のある公園は、眺望に恵まれ、ご年配の方の散歩や子供の遊びと冒険ごっこの場、大人の健康づくりなど、幅広い年齢層の方々に多目的に利用され、「ふれあいと憩いの場」となっています。

活動の紹介

広大な丘陵地と住宅街を併せ持つこの地に、2つの公園があります。全員参加による「地域一体型愛護会」として「公園からのまちづくり」を実践している団体です。町内会と密接な連携をとりながらの定例清掃や花壇の手入れ、夜間パトロール、防災訓練などの活動は、地域の美化・防犯に効果を上げるなど、「地域に根ざした愛護会活動」を展開しています。

春と秋、年2回の一斉清掃は、町内会と密接な連携をとり、例年200人を超える参加者で実施しています。

会長自ら、小学校通学路の「見守り隊」として活動する朝は、会長と地域の皆さんとの挨拶の場でもあります。長年変わらぬ挨拶は、この地域の「あたたかさとつながり」を感じさせてくれます。

現役25年目の会長を中心とした、抜群のチームワークと子供やご年配の方々を大切にする風土が、活動継続の発展の決め手ともなっています。

■松見町三丁目公園では、春のお花見から暮れの餅つき大会まで四季を通しての行事が盛んです。中でも「七夕まつり」は、2基の胴竹に付けられた、子供たちの願いを込めた短冊とカラフルな飾りが、まさに星空に届かんばかりの出来栄へと迫力で見ものを圧倒させます。

祭りは自前の模擬店からゲーム大会など手作り感にあふれ、誰もが楽しめる「地域を越えたお祭り」として賑わいをみせています。

■松見みはらし公園では、お花見や七夕まつり、スイカ割り大会、餅つき大会など公園を利用した行事が多く行われる中、愛護会も企画運営に積極的に参画しています。地域に密着した活動で賑わいのある活動を行っています。

活動の様子



一斉清掃の様子



竹に思い思いの短冊を付ける子供たち



餅つき大会の様子

◇ 活 動 公 園 ◇

松見町3丁目502-1 / 松見町三丁目公園(街区公園)

松見町3丁目891 / 松見みはらし公園(近隣公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成2年6月25日

平成10年12月25日



神奈川区 ポートサイド公園愛護会



活動の様子



様々な世代が公園で健康づくりを行っている



公園フェスタには多くの住民が参加



子供たちのラジオ体操の様子

公園の特徴

横浜港に面するポートサイド地区内の水際にある公園です。この公園の設計コンペにおいて第一等になった長谷川浩己氏のデザインによる「うねる芝生」が特徴的です。

活動の紹介

近隣マンション10棟の住民と近隣店舗勤務者の計29人が中心となって、月2回の定期清掃を行っています。

賛助会員は近隣地域団体・法人企業・店舗の21団体から成ります。横浜駅至近のビジネス街に隣接している特徴を生かして、店舗や企業体と連携しています。

地区の再開発途上で、いち早く愛護会を立ち上げました。清掃活動を通して、公園を近隣住民の集う管理の行き届いた清潔な場所として維持し、北部公園緑地事務所と連携しながら、落書きの除去や放置自転車の撤去、夜間照明改善、ベンチでの寝そべり防止、ホームレス対策等のセキュリティ、美化面の改善に取り組んでいます。

地域団体や企業と連携し、公園に親しむ機会としてラジオ体操や太極気功&健康ストレッチ等を実施しています。

平成25年度は、子供を中心とした夏休みのラジオ体操に延べ 1,300 人ほどが参加し、毎週土曜日に大人を中心として行われている太極気功&健康ストレッチで延べ 1,000 名ほどが参加しました。また、11月に開催する公園フェスタでは、20棟以上のマンション住民など約500人が参加し、賑わいを見せました。

大型マンションに囲まれ、他の土地からの転入者が多い特性のある地域で、多くのイベントを企画・実行して住民の外出機会や顔合わせの機会をつくり、住民同士や住民と勤労者を結びつけることにより、地域の安全と安心の進展に寄与しています。

◇ 活 動 公 園 ◇

大野町1-4 / ポートサイド公園(近隣公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成10年3月31日



西区 追分公園愛護会



公園の特徴

市営バス浅間町車庫より、環状1号線をはさみ西側の住宅街の中にある静かな公園です。樹木もよく広がり、心地よい日陰を提供しており、地域の憩いの場となっています。

砂場にカバのコンクリート遊具があることから、「カバ公園」として親しまれ、毎日多くの子どもたちが遊んでいます。

活動の紹介

追分公園のある自治会では、東日本大震災の教訓から「顔の見えるまちづくり」や「世代を超えた交流」を行う活動に取り組むようになりました。

「顔の見えるまちづくり」として、きれいで住みよいまちをつくるために、公園及び町内の美化活動として、以前は自治会や子供会、老人会がそれぞれ清掃活動を行っていましたが、町内会を4つに分けて各班で清掃を行うようになりました。

愛護会では、毎回の清掃活動に必ず関わり、公園の美化に努めています。この美化活動は2年目に入り、自治会と愛護会一体で行うことが定着してきています。

ほかにも町内全域のごみ収集に合わせた、園内の清掃除草等も行われています。また、グラウンド・ゴルフの愛好会の皆さんが、週に4回程度、利用の前に清掃を実施しています。

「世代を超えた交流」として開催している町内親睦グラウンド・ゴルフ大会には、小学生からシニアまで多くの地域住民が参加しています。

地元の要望で花壇を設置し、春には花苗を植え、秋には土木事務所が提供したチューリップの球根を植えるなど、日頃から手入れの行き届いた花壇にしています。

活動には、これまで受講した中低木の管理講習と刈払機講習を生かして、きれいな公園にしています。

また、今年の11月から来年の2月にかけて行われる、公園内の再整備工事後には、遊具の安全な使い方講習も受講予定で、とても意欲的で活動の活発な愛護会です。

活動の様子



砂場の「カバ」の前でラジオ体操



花壇に水やりをする様子



グラウンド・ゴルフ大会のあとの親睦会

◇ 活 動 公 園 ◇

浅間町4丁目349-1 / 追分公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和33年4月1日



中区 豆口台公園愛護会



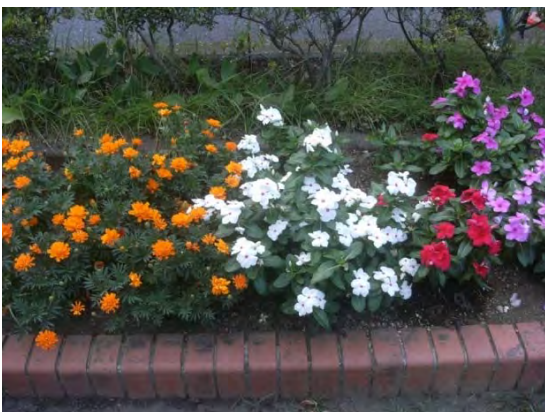
活動の様子



夏祭りの様子



夏祭りには多くの子供たちが参加



花壇の様子

公園の特徴

住宅に囲まれ、周囲の道路も車の通行が少ない公園です。遊具はブランコやすべり台、鉄棒があり、近隣の子供たちによく利用されています。

地元のお祭りや学校の授業にも利用され、地域に密着した公園です。

活動の紹介

昭和27年に設立された、歴史のある愛護会です。町内会のメンバーで毎週月・水・金曜日を活動日として活動を続けています。

清掃、除草などの基本的な作業を確実に行っていきます。掃除が行き届き、中低木が茂った際には剪定を行い、いつ行っても気持ちのいい公園です。

公園内に花壇が沢山有り、愛護会の方たちのお世話で四季折々の花々が生き生きと咲き、公園を利用する人の目を楽しませています。花を大事にしているという気持ちが伝わってくる公園で、植物に対する慈しみが感じられます。

公園で愛護会と町内会が連携し花火大会をしたり、焼き芋大会をしたり、子供たちを招いたイベントを沢山行っています。

公園が地域の交流の場としての役割を大いに果たしていて、愛護会を通して、万が一の災害時に孤立しないように地域のつながりを大切にしています。

また、子供たちの利用も多いので、遊具の不具合がないか見守りをしています。

活動を継続していくために、「無理なく、楽しく」をモットーに地道な愛護会活動を行っています。

◇ 活 動 公 園 ◇

豆口台118-36 / 豆口台公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和27年4月1日



南区 清水ヶ丘ふれあい公園愛護会



公園の特徴

丘の上にあり、大きなヒマラヤスギがシンボルです。ケアプラザや療育センターに隣接しており、花壇には花が絶えることがありません。

清掃が行き届き、夏には大きな木の木陰で気持ちよさそうにくつろぐ近隣住民の姿が見受けられる、落ち着いた雰囲気公園です。

活動の紹介

定期清掃は月2回ですが、近隣の愛護会員が毎日清掃しているため、砂場の中まで箒の跡が見られるほど、いつも清潔に保たれています。親子連れや保育園児も安心して、利用できるようになっています。

年2回保育園に出向き、一緒に種まきを行い、園児たちに花を育てる楽しさを教えています。その後、その花苗を使って花壇づくりを行うなど、花や公園の遊具を大切に作る啓発なども行い、子供たちとの交流を深めています。

以前から区内でもきれいな公園といわれていましたが、花がなく少しさみしいイメージでした。保育園長会で愛護会と保育園の関わりが話題になり、花壇づくりを協働で行いたいという声が上がりました。これを受けて、保育園と定期的に花壇づくりをするようになり、花壇の周りにも花があふれ、公園が明るくなりました。また、保育園との関わりが多くなり、以前にも増して地域と密着した活動を積極的に行なっています。

どうしたら公園がよくなるか常に考え、アイデアを出し、花壇に保育園児が書いた名札を付けたりして、親しみの持てる公園づくりを行っています。

活動の様子



保育園児と種まき



チューリップの球根植えつけ



清掃と花壇手入れ

◇ 活 動 公 園 ◇

清水ヶ丘49 / 清水ヶ丘ふれあい公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成9年3月31日



南区

別所さくら公園愛護会、別所第五公園愛護会、
別所矢畑公園愛護会、六ツ川二丁目南公園愛護会



活動の様子



別所第五公園 子供会との花壇づくり



別所さくら公園 公園使い始めの会

公園再整備により新しくできた健康遊具や災害用トイレの
デモンストレーション、地域の交流が行われた。



ヒマワリには植えた子供たちの名札がついている

公園の特徴

4つの公園は、住宅地の中にある小さな公園です。その中でも一番大きな別所さくら公園を中心に、これらの公園は地域のオアシスのような存在として、地元住民に愛されています。

活動の紹介

愛護会は町内会のメンバーで構成されています。4つの公園は、連携して行う大きな行事以外は、それぞれの公園で清掃や花壇の手入れを行っています。

各公園とも南区の花である「桜」と普及花である「コスモス」が見事に咲き、花壇づくりに力を入れています。

別所さくら公園では、ヒマワリの苗を会長自らづくり、子供たちと植えつけを行っています。その苗には植えた子供たちの名札を付けるなど、自分の花を大切にする意識を育てる工夫もしています。

4つの公園が合同で別所さくら公園に集まり、6月は連合町内会主催の近くの農園で作っているジャガイモの収穫祭、8月は町内会主催の夏祭り、12月には避難訓練などのイベントで公園を利用し、多世代との交流を積極的に行い地域の絆を強くし、住民相互のつながりを深くしています。

愛護会活動に地域住民全員の参加を促すため、町内会報に公園の花を毎号紹介し、「みんなで楽しみながら、公園を管理しよう」と啓発するなど積極的にPRをしています。

また、平成25年度は、地域の公園だけではなく、連合町内会全体の公園を知ろうと「別所公園めぐり」を企画し、まずは町内会の役員10人ほどが、ほかの公園の花壇などを見て回り、その愛護会の活動に刺激を受けました。今回の公園めぐりは「次年度からは地域に声かけをして、バス旅行のかわりにしても楽しい企画なのでは」と、好評でした。

これらの経験を自らの活動に生かし、地域の方々に楽しんでもらえるような、一年中花が咲いている花壇づくりを行っています。

◇ 活 動 公 園 ◇

別所七丁目7 / 別所さくら公園(街区公園)ほか

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和59年7月25日(別所さくら公園)ほか



港南区 榎戸公園愛護会



公園の特徴

閑静な住宅地にある公園で四季折々の花が咲き、地域の憩いの場になっています。毎日たくさんの子供たちが集まり、元気に遊ぶ地域の中心的な公園です。

活動の紹介

愛護会活動は、自治会の役員と老人会の花グループ「えのきど花の会」が中心になって行っています。

えのきど花の会は、公園にある7つの花壇に四季折々の花を植え、地域の皆さんで花壇づくりを楽しんでいます。花壇には皇帝ダリアなどの宿根草や、パンジー・葉牡丹などの一年草がいつもきれいに咲き、地域の憩いの場になっています。また、葉牡丹は種から育てた苗を植えています。

日常の花壇管理は、えのきど花の会が行っていますが、年2回行う花植えは、老人会や地域老人ホームの職員も一緒になって約600株の花苗を各花壇に植えます。花壇づくりが地域交流の場になっています。

花の絶えない公園は近隣の保育園児や老人ホーム入居者が毎日訪れる憩いの場所になっています。

また、園内に堆肥置き場を設置し、落ち葉を堆肥にして花壇に活用するなど、環境活動にも尽力しています。

活動の様子



花壇の様子



花植えに参加した皆さん



花グループが種から育てた葉牡丹

◇ 活 動 公 園 ◇

港南台六丁目25 / 榎戸公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和54年6月5日



港南区 四反田公園愛護会



活動の様子

現在



三年前



お助け隊の協力で公園周囲に宿根草を植えました



階段両サイドにアガパンサスを植えています



宿根草と四季折々の花が植えられた花壇

公園の特徴

港南台駅近くの住宅地にある静かな公園で、近くの保育園児や、サラリーマンの昼休みによく利用されています。花壇には四季折々の花が咲き、大変きれいな公園です。

活動の紹介

愛護会活動は、自治会と自治会有志の花グループ(8人)が行っています。清掃は月1回自治会で呼びかけて行っています。また、草刈りは自治会有志で行い、子供たちが安全に遊べるように管理しています。

公園の花壇は月3回花グループが管理を行い、種から育てた花苗(パンジー・葉牡丹)や挿し芽苗(コリウス)などを植えており、公園利用者の憩いの場になっています。

近隣保育園に花グループが育てた花苗を提供する活動を行っているほか、港南区の魅力アップ事業に協力し、保育園花壇に園児とヒマワリを植えるなど、地域交流を積極的に行っています。

園内にある階段の両サイドにはアガパンサスが植えられ、暑い夏にホッとさせる清々しさを与えています。また、3年前には、港南区の愛護会有志による「公園愛護会活動お助け隊」の協力を得て、公園周囲に宿根草を植えました。

愛護会活動への参加は圧倒的に女性が多く、公園管理のほとんどは地域女性が行なっています。女性のきめ細やかな視点で、子供たちが安全に利用できるように、草刈りも女性パワーで行っています。

◇ 活 動 公 園 ◇

港南台三丁目8 / 四反田公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和56年11月25日



港南区 美晴台公園愛護会



公園の特徴

桜などの木々に囲まれた、住宅地の中の緑豊かな公園です。一際大きなクスノキが公園を訪れる人を迎えます。

朝6時半からラジオ体操が始まり、午前中は高齢者が広場を利用してゲートボールを行い、遊具広場では小さな子供たちが親子で遊んでいます。午後は、たくさんの小学生が広場を駆け回り遊んでいます。様々な年代が多様に活用し、利用者が絶えない公園で、まさに地域のコミュニティの場になっています。

活動の紹介

公園の定期清掃は、愛護会が週1～2回と自治会員参加で月1回行っています。公園利用者も活動に協力しており、地域住民がラジオ体操の前に毎日清掃を行っているほか、ゲートボール利用者も練習の前後に清掃を行っています。

愛護会という枠を超え、地域の皆さんで公園管理に取り組んでいます。いつ訪れてもごみひとつなく大変きれいな公園です。

公園利用者から、木の名前が分かると、もっと公園に親しみが増すという提案で、樹名板づくりを行いました。

区内の他公園愛護会も参加し、交流を行いながら樹名板を取り付けました。

また、公園で地域住民を対象に種まき講習会を行うなど公園に親しみながら地域交流を行う活動も行っています。

活動の様子



シンボルツリーのクスノキ



樹名板をつくりました



6時半からラジオ体操

◇ 活 動 公 園 ◇

上永谷三丁目21 / 美晴台公園(街区公園)

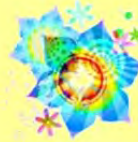
◇ 公園公開年月日 ◇

昭和54年10月25日



保土ヶ谷区

天王町駅前公園愛護会 岩間町公園愛護会



活動の様子



天王町駅前公園 植栽を手入れする様子



天王町駅前公園 石巻市から来たヒマワリの種



岩間町公園 保育園児と花苗を植える様子

公園の特徴

天王町駅前公園は、相鉄線天王町駅前にあり、中低木と花壇を囲いとした開放的な公園で、駅前なので通行者も多くいます。

岩間町公園も同じく天王町駅のすぐ近くにありますが、車の通りの少ない路地裏にあるため落ち着いた静かな公園です。園内の見通しがよく、近隣の保育園児や児童、乳幼児と保護者がよく利用しています。

活動の紹介

2つの公園は一つの自治会区域内にあり、公園愛護会長は2公園を兼務し、一体で活動しています。ハマロードサポーターを兼ねている会員も多く、公園のみならず地域全体の美化に努めています。活動の写真などを載せた1年分で厚さ10センチにもなる記録ファイルを作成し、土木事務所に持参するなど、活動に積極的に取り組んでいます。

清掃や除草作業だけでなく、最近では園内の地面の掘り起しを実施し、ガラの除去や良質土への入れ替えを行うなど公園の整備にも力を入れています。

■天王町駅前公園の花壇にはチューリップをはじめ、年間を通じ花が咲き誇っています。また中低木を美しく刈込み、全体のバランスを考えた美化に取り組んでいます。利用者が多いため清掃は大変ですが、第三日曜日の定例清掃に加えて、悪天候以外は毎日早朝から清掃や除草、花壇の手入れ等を行い、公園はいつもきれいに保たれています。駅はまちの玄関と言われますが、公園愛護会活動はまちのイメージアップに貢献しています。

平成25年の夏からの活動では、大輪のヒマワリを咲かせました。このヒマワリは東日本大震災の際に宮城県石巻市の津波で流された住宅跡に奇跡的に芽を出した一本のヒマワリを受け継いだものです。その経緯が書かれた看板と共に、多くの人の目にとまりました。花壇づくりを通して社会的にも意味深い活動をしています。

■岩間町公園は、近隣の保育園児の活動の場にもなっており、愛護会は遊具や施設の点検にも力を入れ、積極的に活動しています。今年4月には、岩間町保育園児と一緒に「公園の安全な使い方」講習を受講したり、花苗を植えて育てる学びの場を提供したりするなど、子供たちと親密で温かい関係を築いています。

愛護会による毎日の活動や安全への目配り、声かけが「安心・安全な公園」を実現し、利用者から喜ばれています。高齢者の活動の場づくりを目指すなど地域福祉の向上にも関心が高く、地域との交流が活発です。

◇ 活 動 公 園 ◇	◇ 公園公開年月日 ◇
岩間町1丁目5 / 天王町駅前公園(街区公園)	昭和58年3月25日
岩間町1丁目2-2 / 岩間町公園(街区公園)	昭和44年10月1日



保土ヶ谷区 仏向矢シ塚公園愛護会



公園の特徴

閑静な住宅地にあり、多目的広場を持つ広い公園です。子供からご年配の方まで幅広く利用しています。

遠い昔、この一帯は源頼朝が狩りを行った場所でした。源頼朝が大獵を祈願して放った矢が地面に刺さり、そこから矢竹が生え茂ったとの言い伝えから、古くはこの一帯を「矢シ塚」と呼んでいました。その面影を残す自然豊かな保全斜面地や水辺もあり、多様な趣を有する公園です。

活動の紹介

第三日曜日の定例清掃を中心として、多目的広場を管理する管理運営委員会と協力し、随時、清掃や除草、施設の管理を一体で行っています。

大変広い公園で中低木がとても多いのですが、よく手入れがされ、高木との調和のとれたきれいな公園を維持しています。遊具があり児童に人気のスペースには、皇帝ダリアを育てるなど周囲との調和を考えた花植えをしています。

また、遊具等が整備された区域がある一方、保全斜面地を有する公園として、自然に近い林や水辺の植物など多様な植生を維持しています。そのため、小学校や幼稚園の学習の場としても利用されています。

自前の刈払機を持ち、除草も活発に行っています。初めて刈払機を使用するメンバーのために市の刈払機講習を受講するなど安全面への配慮も積極的です。

保土ヶ谷区の木であるハナモモを大切に育て、春には桜と共に人々の目を楽しませています。

公園では、どんど焼きやお花見、盆踊り、花火大会、もみじ祭り、ラジオ体操やグラウンド・ゴルフなど年間を通じて催しがあり、地域の交流の場、文化振興の場を提供しています。

活動の様子



清掃活動の様子



草刈り作業の様子



春にはお花見が行われる

◇ 活 動 公 園 ◇

仏向町614-2 / 仏向矢シ塚公園(近隣公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成8年3月25日



旭区

善部町第一公園愛護会 善部町第二公園愛護会



活動の様子



子供たちも水やりなどをして花壇の管理をお手伝い



清掃活動の様子



自治会の夏祭りの様子

公園の特徴

閑静な住宅街にある公園です。丁寧な清掃と花壇の管理に取り組んでいます。ご年配の方の利用が多く、地域が気にかけて見守っているため、子供たちも安心して遊べる公園です。

人の集まりやすい第一公園は自治会のお祭りで使われ、広場の大きな第二公園は地域住民の運動の場になっています。

活動の紹介

月1回の定期清掃と草刈り、季節に合わせて花壇の手入れを行っています。そのほかにも、近隣の皆さんが毎日ごみ拾いや草刈りを行っているため、いつ訪れても気持ちの良い公園です。

愛護会の高齢化が進み、清掃活動に参加する人が少なくなる中、自治会約260世帯が協力して二つの公園の清掃活動を行っています、地域全体で公園を大切にしています。

愛護会の中に環境係を設け、清掃中に問題等があればノートに記入して話し合います。秋の落葉の多い時期は清掃活動を週1回に増やしていますが、これも話し合いで決まりました。

こまめに花壇の水やりや花摘みの作業を行っています。そして、何より日当たりが良いため、花壇には常に沢山の花が咲いています。

区の事業の一つである「世代間交流事業」も行われています。近隣の保育園児が、春にはミニヒマワリ、秋にはチューリップの球根を植え、愛護会と協力して育てています。この事業に参加することによって、愛護会・保育園・土木事務所の交流が深まり、よりよい公園づくりに役立っています。

◇ 活 動 公 園 ◇

善部町31-49 / 善部町第一公園(街区公園)

善部町37-4 / 善部町第二公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和48年3月24日

昭和49年6月5日



旭区 桧山公園愛護会



公園の特徴

シダが群生する杉・桧林(保全林)と広葉樹を楽しめる遊歩道があります。

活動の紹介

平成18年度に環境創造局の「環境教育アクションプランパイロット事業」が立ち上がり、その一つとして、平成21年度に若葉台地区との協働で若葉台公園・大貫谷公園・桧山公園の3つの樹林地維持管理方針が策定され、「里山公園」として位置づけられました。

昨年、若葉台地区の3公園を「里山公園」として維持管理していくことが、若葉台連合自治会を通じて住民に周知されました。

昨年9月から下草刈り・ネザサ刈り・間伐・剪定など、桧山公園愛護会の新たな活動として森の魅力を高める管理に取り組んでいます。

3月までの7か月の間に計21回、延べ148人が参加した活動により、貴重なシダが群生している「保全林」を除いた桧山公園のほぼ全域を明るい林に蘇らせることができました。

公園は三方を学校に囲まれています。愛護会の活動により、うっそうとした樹林地が明るい広場になったので、小学校の総合学習の場になる話が進んでいます。

今年の5月には地域住民を対象に「春の植物観察会」が開かれ、講師と一緒に20人ほどの参加者が園内を歩きました。当日は、キンランやギンランなどの貴重な植物の観察ができました。

活動の様子



愛護会員の皆さん



枯れ木を片付け、「里山公園」を維持管理



作業後



作業中

下草刈りの様子

◇ 活 動 公 園 ◇

若葉台二丁目14 / 桧山公園(近隣公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和58年6月4日



磯子区 滝頭二丁目公園愛護会



活動の様子



園児と一緒に花植え



地元少年野球部も清掃活動に協力



盆踊り大会の様子

公園の特徴

この公園の場所は、以前「滝頭町広場はらっぱ」と呼ばれていました。地域ケアプラザや保育園、コミュニティハウス、特別養護老人ホームなどの施設と隣接しているため、子供からご年配の方まで幅広い年代層が利用する公園です。

活動の紹介

地域全体の定期的清掃活動は月1回ですが、愛護会でローテーションを組んで毎朝、見廻りや清掃、花壇の水やり及び利用者へのマナー啓発を行っています。花壇の近くには様々な世代が集まり、交流をする姿も見受けられます。

自治会や地元少年野球部、少年サッカーチーム、近隣保育園や中学校と連携した清掃や美化活動を行っています。

小さな花壇には近隣の保育園で育て一緒に植えた花苗や球根などもあり、地域の憩い場所になっています。定期的な草刈を実施されているため、清潔感があるきれいな公園となっています。

公園を利用したイベントでは、近隣の施設の方を招き入れた内容で計画され、子供からご年配の方まで幅広い年代層が参加しています。地域の皆さんに親しまれる公園を目指して活動を続けています。納涼ふれあい盆踊り大会では、近隣の老人ホームや保育園に参加を呼びかけ、世代間の交流を促進しています。

また、町内会と連携し、週3回下校時や夜間に青パト車で地域及び公園を巡回するなど、地域の防犯活動にも積極的に参加しています。

地域の中心となっている公園を大事にするため地域ぐるみで活動しています。きれいで安心して遊べる公園を目指し、みんなが笑顔で楽しんでいる様子を見るのが愛護会活動のやりがいにもなっています。

◇ 活 動 公 園 ◇

滝頭二丁目31 / 滝頭二丁目公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成19年4月13日



磯子区 洋光台緑地トンボ池愛護会



公園の特徴

トンボ池は、洋光台緑地内に「子供たちが元気になる環境づくりをしたい」との地域の思いを受けて整備されました。

湧水を利用した自然環境の中で、様々な生き物(メダカ、サワガニ、オニヤンマ、川エビなど)が観察できる場所で、「洋光台のトンボ池公園」としても親しまれています。

公開当時は、開発未利用地のため樹木などで鬱蒼としてあまり人が寄り付かないところでしたが、地元の熱意と試行錯誤の結果、「子供たちが自然環境の中で遊び、自然観察ができる場所」が出来上がりました。

活動の紹介

愛護会が中心となって、湧水を利用した池の掃除、せせらぎ(水路)の補修や水中生物の生育など自然環境保全活動及び周辺道路の清掃活動を行っています。そのため、愛護会と地域の主催による自然観察をテーマにしたイベントなどに利用されることが多く、「洋光台のトンボ池公園」として知られるようになりました。

定期清掃は月2回ですが、随時見守りの目があるので、整然とした中で自然環境が保たれ、静けさとひとときの安らぎを与えてくれる公園となっています。また、月1回開催される愛護会と洋光台まちづくり協議会との部会では、トンボ池の維持管理についての現状確認、いたづらや破損などの相談や対応について話し合っています。

小中学生が参加した清掃活動や植樹なども行っている為、子供たちに大変人気ある場所となっています。

また、緑地と水辺環境を生かし、小学校の総合学習授業や親子と一緒に楽しめるイベント開催の場所にもなっています。小学校の総合学習の「まち探検」の授業では、愛護会が講師として対応しています。イベントでは、学校の先生や専任講師を招いた水中生物の観察会や愛護会主催のフィールドビンゴなども行っています。

自治会、小中学校と連携した活動は、子供たちや大人たちが一緒に自然を楽しむ場でもあり、生き物を通じて子供と大人の交流の場にもなっています。こうした活動が地域環境づくりに大きく貢献しているとの意識が高く、やりがいがあり楽しむ感覚で活動しています。

活動の様子



フィールドビンゴでは、多くの親子が参加



植樹の様子



「まち探検」では愛護会員が講師として協力

◇ 活 動 公 園 ◇

洋光台六丁目11 / 洋光台緑地(都市緑地)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和62年12月5日



金沢区 洲崎公園愛護会



活動の様子



芝の公園に集う近隣住民たち



協力して楽しく活動している愛護会員の皆さん



花壇の様子

公園の特徴

平潟湾沿いの海に面したほぼ正方形の公園です。眺望抜群ですが、海風が強い立地です。

活動の紹介

毎週火曜日の8時から9時まで、休まず清掃活動をしています。愛護会の仲間の結束が固く、いつも一致協力して活動しています。

愛護会と自治会がよく連絡を取り、行事を公園で行うことが多いです。焼き芋大会や樹名板付け、堆肥づくり、3か所の花壇づくり、パパと凧揚げ大会など、工夫を凝らした様々な行事を通して世代を超えた交流が行われています。

公園の立地特性から、平潟湾からの海風が公園のグラウンド表面の砂を公園の北側に吹き飛ばすので、以前は常に砂を公園中央まで一輪車やリヤカーで運ぶ作業に努めていました。

愛護会が高齢化して重労働である砂運びを解消するため、平成25年度、改修工事でグラウンド全面に芝を張りました。その年の愛護会のつどいでは、「砂の公園を緑の芝に」というテーマで活動発表し、ほかの愛護会から多くの共感を得ました。平成26年7月に芝のグラウンドがオープンし、その際セレモニーを実施しました。

愛護会では、緑の芝を維持するため、こまめに小さな草でもみんなでとり、夏場は2日に1回、交代で芝生に水をやるなど活動の工夫をしています。芝が敷かれ、地域からは喜びの声が聞こえてきます。以前より利用者は格段に増えましたが、ごみやペットボトル、たばこの吸い殻は減り、とてもよい環境が保たれています。

子供会にお願いし、公園美化のポスターを書いてもらい公園フェンスに常時掲示しています。

◇ 活 動 公 園 ◇

洲崎町23 / 洲崎公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和42年7月15日



金沢区 関ヶ谷の辻公園愛護会



公園の特徴

住宅街の中にあり、広々とした散策型の公園です。広場と幼児向けの遊具コーナーがあります。

午前中は乳幼児連れの保護者とご年配の方が多く、午後は放課後の子供たちが遊ぶ姿が見受けられます。

活動の紹介

会長以下8人で活動しています。定例の活動は、第一土曜日に1時間半程度行われ、会長の熱心さ、人柄により会員が集まり、和やかな雰囲気の中で作業をしています。ほかにも、各自が自発的に必要と思った作業を行っています。

活動は、3年程前から特に活発になり、この1年で会員が4人増加しました。公園で自主的に清掃などをしていた人に、愛護会活動への参加を呼びかけた結果です。

枠のある花壇はありませんが、木々の間のスペースに雰囲気に合う花を植えてみんなで手分けして水やりをし、公園を美しく保っています。

公園内のベンチの塗装や、台風で壊れた公園のフェンスに取り付けてある地域の地図表示板の修理なども行いました。

愛護会が、樹木の剪定や草刈り、ごみ拾いなどを熱心に行っているため、公園はいつもきれいで落ち着いています。そのため、幼児が安全に遊ぶ公園として、近隣の子育て世帯によく利用されています。また、ご年配の方にも憩いの場所として利用されています。

活動の様子



木の周りに花を植えて、公園に彩りを添えている



和やかな雰囲気の中で活動する愛護会員の皆さん



いつもきれいで落ち着いた雰囲気の園内

◇ 活 動 公 園 ◇

釜利谷西二丁目35 / 関ヶ谷の辻公園(街区公園)

◇公園公開年月日◇

昭和53年6月24日



金沢区 能見台北公園愛護会



活動の様子



少しずつメンバーが増え、現在21人



「公園めぐりウォーキング」のルートにもなりました



花壇の様子

公園の特徴

住宅地の中にある里山風の斜面林がある公園です。園内に多目的広場とテニスコートがあります。運動施設を利用される方が広く区内から集まってくる公園です。

活動の紹介

以前は、自治会組織の中に公園愛護部として位置づけられ活動していましたが、平成20年から会員15人で正式に公園愛護会として発足しました。

毎月2回の定例作業に加え、花壇に特に力を入れて常時色々な花が咲くエリアにしています。アジサイやスイセン、紅白の曼珠沙華、クリスマスローズ、ヤマブキ、アイリス、アガパンサス、菜の花、コスモス、ルイラソウなど、四季折々、多くの種類が見られます。

花壇は広い園内に3か所あり、花壇に植える花はすべて会員が育てたものと、土木事務所配付の花です。また、堆肥置き場でつくった堆肥を花壇に利用しています。

花壇づくりのほかにも樹名板づくり、中低木の管理講習、堆肥置き場づくり、焼き芋大会など、市の様々な技術支援を取り入れ、活動の発展に活かしてきました。

活動が組織的になるにつれて、メンバーが増え現在21人で活動しています。メンバーは自治会便りや、愛護会発行のチラシで募集しています。活動計画が綿密に立てられ、愛護会活動は活発に行われています。

自治会行事への協力も活発で、子供たちのためにブランコ広場の草取りを心がけ、ラジオ体操にも協力しています。

公園内で集めた枯れ木を生かすため開催している焼き芋大会も地域の多くの人に参加し、定着してきました。

ご近所の「公園めぐりウォーキング」の立ち寄り公園として、ほかの公園の愛護会員が大勢訪れ、樹木の名前や性質などを会員が説明しました。

◇ 活 動 公 園 ◇

能見台一丁目42-1 / 能見台北公園(近隣公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和57年7月5日



港北区 新横浜駅前公園愛護会



公園の特徴

鳥山川に沿って広がっている広大な公園で、少年野球場も併設しています。川沿いにたくさんの桜の木があり、春になると見事に咲き誇るので、多くの人が花見に訪れます。

新横浜駅前公園は、昭和50年に整備され、新横浜のまちとともに歩み出しました。当時は駅前にビルがほとんどなかったため、「新横浜駅前公園」という名前が付けられましたが、今ではビルが立ち並び、「駅前」ではないのになぜ「駅前公園」という名前なのか疑問に持つ人が多いようです。

活動の紹介

新横浜駅から労災病院に向かう園内の「さんかく橋」はロケ地としてTVドラマでも使われた場所です。そこに続く約100mの通路の両側に美しい花壇があり、いつも花がきれいに咲いています。

花植え、水やり、雑草取りなどの花壇の管理は町内会や子供会と協働で行っています。夏休みには、毎朝、子供たちが交代で花壇の水やりをしています。

町内会や子供会と連携し、美しい花壇を維持して、人々の目を楽しませています。

毎日のように清掃活動をしていることから、きれいな状態の芝生広場は、近隣の方々の憩いの場になっています。近隣にある会社の社員の憩いの場にもなっていて、気候の良い時期は芝生広場でランチを楽しむ姿も見受けられます。

毎年10月中旬の土曜日には少年野球場で「ふるさと港北ふれあいまつり」が開催されます。また、新横浜町内会のお祭り「新横浜パフォーマンス」も同時開催されるので、1日約30万人が来場され、それに合わせて、愛護会で公園の美化にも力を入れています。

活動の様子



花苗の位置をみんなで決めます



子供たちも協力して花植えをする様子



交代で水やりをする子供たち

◇ 活 動 公 園 ◇

新横浜二丁目16-1 / 新横浜駅前公園(近隣公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和50年3月20日



港北区 日吉の丘公園愛護会



活動の様子



コスモスの種まきの様子



コスモスが咲くのを楽しみにする参加者たち



竹の間伐の様子

公園の特徴

小高い丘の樹林が美しい公園で、「ウコンサクラ」などの珍しい樹木や植物があります。樹林地主体の公園なので、大人が森林浴などを楽しみに散歩に訪れます。木の下でどんぐり拾いを楽しむ子供たちもいます。

活動の紹介

毎日愛護会が清掃しているため、公園に上がる長い階段や園路はいつも掃き清められています。

美しい樹林の公園は、手入れの行き届いた庭園のような雰囲気です。街中にありながら森林浴を楽しめる公園は、この地区の癒しのスポットになっています。

今年の春には竹林の竹を間伐した場所に地域の人たちと共にコスモスの種をまき、季節の花も楽しめる公園になるよう活動をしています。

公園整備時から竹林が徐々に広がっていたことから、間伐して明るくすることとしました。青竹は比較的楽に切ることができますが、古くなった竹はなかなか切りづらく、作業には時間がかかりました。また、倒れた竹は枝が絡むと片づけられないので、全ての枝をなたで落としました。枝が足元に当たると怪我をするので、切り落とした枝を先に片づける必要もあったため、間伐するのに何日も要しました。

草地の広場は、夏は定期的に刈払機を利用して草刈りを行っているため、良好に維持されており、多くの利用者が訪れます。

◇ 活 動 公 園 ◇

箕輪町三丁目13 / 日吉の丘公園(近隣公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成14年12月25日



港北区 師岡沼上耕地第二公園愛護会



公園の特徴

大規模商業施設の隣にあり、利用者や通行人が非常に多い公園です。買い物帰りに気軽に立ち寄る人も多く、親子連れが楽しく遊んでいる様子も見受けられます。

歩道に添ってツツジの植え込みがあり、公園の真ん中には花壇、遊具、砂場があります。

活動の紹介

愛護会長夫婦が中心になり、毎日のように清掃をしています。

花壇だけでなく、植栽帯にもアジサイや皇帝ダリアなどを植え、花いっぱいの公園になるよう日々手入れをしています。今年度は「港北オープンガーデン※」にも参加し、YOUテレビ(ケーブルテレビ)の取材を受けました。

以前は緑が少ない公園でしたが、現在は愛護会で植え込みの石やガラを取り除き、土を耕し、堆肥を入れて愛情を持って育てた植物が並んでいます。

平成26年4月に、ドウダンツツジ100本、オオムラサキツツジ20本、ヤマブキ20本を、区内のほかの愛護会の皆さんとの協働作業で植樹しました。

その結果、四季折々に楽しめる花や緑が多くなり、さらにたくさんの方が訪れる素晴らしい公園になりました。

※「港北オープンガーデン」とは、港北区の魅力である「花と緑」をテーマに、普段は見ることのできない個人のお庭に加え、区内の地域グループの方が育てているコミュニティ花壇や公園の花壇を公開し、皆さんに巡って楽しんでいただく催しです。

活動の様子



ほかの愛護会から応援に駆けつけたメンバーと一緒に



ドウダンツツジを植樹しました



楽しくおしゃべりしながら花植え

◇ 活 動 公 園 ◇

師岡町700-19 / 師岡沼上耕地第二公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成20年3月25日



緑区 白山町高倉公園愛護会



活動の様子



子供たちとの樹名板づくり



子供たちを巻き込んだ活動を行っています



朝顔の種まきの様子

公園の特徴

マンションの提供公園です。近隣の学校に通う子供たちの通学路に隣接し、子供たちの笑顔の集まる場となっています。

活動の紹介

白山町高倉公園愛護会は、近隣マンション住民の有志4人が、管理されていなかった白山町高倉公園を「ごみのない公園にしていこう」と目標を掲げ、結成した愛護会です。

結成当初から、公園の美化に関心が高く、日々の公園の清掃活動を積極的に行っています。公園の見回り活動においては、危険な箇所や公園で何か変わったことがあれば土木事務所へ逐一連絡を寄せるなど、公園の安全に、常に高い意識をもって活動しています。

愛護会結成前は、公園のごみなどについて土木事務所に陳情が多く寄せられていました。結成後は会長から公園の様子が常に事務所に伝わるようになり、不法投棄が減り、安全も保てるようになり、陳情も少なくなりました。

清掃だけに限らず、活発な公園利用への意識も高く、子供たちとの樹名板づくりでは、樹木名や樹木の特徴などを子供たちに教えるなど、楽しさと学びを伝える事を大切に考えて活動しています。

愛護会では、公園を利用している子供たちへ声かけを行い、学童の指導者とも顔見知りになり、徐々に活動を一緒に行うようになり現在では様々な活動を協働で行うようになりました。

この夏は子供たちと一緒に朝顔の種まきを行うなど、地域の活性化にも積極的に取り組んでいます。

公園が楽しい場所になるよう、「次は何をしようか?」と子供たちと一緒に出来る事を常に考え、子供たちの元気が集う公園づくりを目指しています。

誰もが安全に集える環境づくりに熱意を持って取り組んでおり、公園を大切にする気持ちが行動となって表れ、子供たちとともに楽しく仲良く元気よく行う活動は、ほかの愛護会の手本となるような活動と言えます。

◇ 活動公園 ◇

白山二丁目2 / 白山町高倉公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

平成2年6月25日



青葉区

柿の木台第一公園愛護会
柿の木台第二公園愛護会
柿の木台第三公園愛護会



公園の特徴

第一公園は、上段はスポーツ広場、中段は複合遊具、下段はブランコや藤棚と分かれており様々な層の利用客が来園します。最近では愛護会が手入れした、たくさんの花壇がとてもきれいです。

第二公園は、中央に小高い山があります。平成25年度に改良工事が行われ、真新しい公園に生まれ変わりました。利用者も以前と比べて増加しています。

第三公園は、安土桃山時代の創建と伝えられている医薬神社の境内に隣接した場所にある小さな公園ですが、放課後になると近所の小学生たちが集まってくる場所です。

活動の紹介

柿の木台第一公園を中心に愛護会メンバーが、荒天の日を除いて毎日のように、公園清掃や安全確認などを行っています。

愛護会メンバーのたゆまぬ活動により、利用者に対するマナーの指導・啓発が行き届き、きれいで安全な公園になりました。

最近では、花壇を増設し、公園の外周に沿って色々な花を植えていて、植栽の手入れをする愛護会員が増えています。また、市の技術支援で作成した堆肥置き場をよく活用し、できた堆肥を花壇づくりに生かしています。

また、中低木の管理講習も受講し、公園での活動に生かしています。

自治会や地域との連携が盛んで、どんど焼きなどのイベントを開催し、地域に根ざした活動を積極的に行っています。

活動の様子



堆肥置き場修理の様子



中低木の管理講習を受ける様子



春には様々な花が咲く第一公園

◇ 活動公園 ◇

柿の木台42 / 柿の木台第一公園(街区公園)ほか

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和52年10月1日(柿の木台第一公園、柿の木台第二公園)ほか



青葉区

桂台二丁目公園愛護会 桂台二丁目第三公園愛護会



活動の様子



桂台二丁目公園の紅葉したトウカエデ



桂台二丁目公園の花壇の様子



メンバーは、自治会と協力して活動している

公園の特徴

桂台二丁目公園は、中央にトウカエデがあり紅葉の季節になるととてもきれいです。平成25年度、改良工事が行われて新しく生まれ変わりました。花壇がよく手入れされ、雑草も少ない公園です。

桂台二丁目第三公園は桂台二丁目公園からすぐ近くにあり、遊具がたくさんあり、子供たちに人気のある公園です。

活動の紹介

毎月第二日曜日を定例活動日に定めています。そのほかにも2日に一度は数人のメンバーが草刈りや植栽の管理を行っており、雑草の少ないきれいな公園になっています。

愛護会と自治会が協力し、清掃活動や利用マナーの指導・啓発を行った結果、以前と比べてきれいで安全な公園になりました。

市の技術支援を受けて設置した堆肥置き場も活用しています。よく管理し、堆肥の切り返しや側板の修理などを積極的に行ない、できた良質な堆肥を園内で活用しています。

昨年度と今年度、台風の襲来が予想された際は、事前に排水樹の周囲清掃と砂の流出防止に土のうを設置し安全対策を行いました。

毎年カラスの巣立ちを応援し、その一方、子供たちへの注意喚起も行っています。カラスは必要以上に怖がることなく刺激しないようにし、野生生物として保護に努めています。

◇ 活 動 公 園 ◇

桂台二丁目34 / 桂台二丁目公園(街区公園)

桂台二丁目37-12 / 桂台二丁目第三公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和63年11月25日

平成6年12月15日



青葉区

黒須田前田公園愛護会 黒須田坂下公園愛護会



公園の特徴

黒須田前田公園は上段はスポーツ広場、下段は遊具広場になっています。黒須田小学校に隣接しており、放課後には小学生がたくさん遊んでいる姿が見受けられます。平成25年度に黒須田小学校の生徒が中心となってつくった花壇がとてもきれいです。

黒須田坂下公園は、黒須田前田公園から5分程歩いたところにあり、斜面の下側に広場があります。天気の良い日には多数の保育園児や幼稚園児がバスで遊びにきます。午後は小学生が広場でサッカーなどのスポーツをしている姿が見受けられます。

活動の紹介

愛護会メンバーが毎月第一土曜日に集まり公園清掃や安全確認などを行っています。

地元の子供会も、定期的に清掃活動に参加しています。愛護会と子供会が協力し清掃活動や利用マナーの指導・啓発を行った結果、きれいで安全な公園になりました。

自治会や地域との連携も盛んで、公園を舞台に地域に根ざした活動を積極的に行っています。公園では、防災訓練や地域合同清掃、餅つき大会、ウォーキング大会、どんど焼きなど数多くのイベントが開催されています。

市の技術支援で作成した堆肥置き場でできた堆肥を花壇づくりに生かしています。

愛護会では、黒須田小学校の担任の先生からの要請を受け、総合学習(出前講座)に、2年続けて協力しました。二つの公園で、樹名板づくりや堆肥置き場の生き物調査、花壇づくりを行いました。

このように、愛護会活動は自治会、老人会、子供会の世代間交流の場を提供しています。

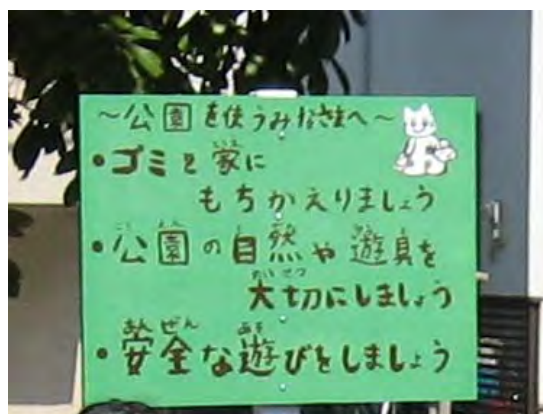
活動の様子



黒須田前田公園での花壇づくり



黒須田坂下公園での堆肥置き場生き物調べ



子供たち手作りのマナー看板

◇ 活 動 公 園 ◇	◇公園公開年月日◇
黒須田34-3 / 黒須田前田公園(街区公園)	平成6年3月25日
黒須田10-1 / 黒須田坂下公園(街区公園)	平成8年3月25日



都筑区 ささぶねのみち長坂地区公園愛護会



活動の様子



活動の中で世代間交流が行われている



清掃活動に参加する子供たち



集めた剪定枝や枯れ枝を機械でチップ化

公園の特徴

緑道、せせらぎ、池及び周囲の雑木林からなる多様で豊かな環境が揃っています。

活動の紹介

毎月第二日曜日の午前中を定例作業日として、樹木の枝下ろしや枯枝の始末、間伐、草地や雑木林の下草刈り等を行い、緑道や雑木林の景観の維持・改善を図っています。

冬場には、土木事務所と消防署の協力を得て、これらの活動により出た剪定枝等を使って、バーベキューなどのイベントを催し、地域住民との交流を図っています。

こうしたイベントの機会を通じ、持続的に新しい会員を獲得しており、2歳から80歳以上までの幅広い年齢層のメンバーが活動に参加しています。

愛護会が結成された平成9年の頃は、緑道沿いの雑木林は常緑樹やつる植物が繁茂し、人が散策することは不可能な、荒れたやぶ状態でした。

愛護会による間伐や草刈り等を10年以上にわたって根気よく継続してきたことにより、現在は落葉広葉樹を中心とした明るく見通しの良い雑木林の景観が復活し、その状態が維持されています。

また、平成22年からはホームページ上で活動を公開しています。毎月の活動の詳細を4年以上毎月更新しており、外部へのPRだけでなく、会員間、行政との情報共有にも活用しています。

ホームページを通じて地元企業と活動交流をしたことなどもあり、新しいツールを活用した、ユニークな公園愛護会の活動スタイル事例です。

ささぶねのみち長坂地区公園愛護会のホームページ
<<https://sites.google.com/site/sasabunenagasaka/home>>

◇ 活 動 公 園 ◇

荏田東三丁目21 / ささぶねのみち(緑道)

◇公園公開年月日◇

昭和62年12月5日



都筑区 ゆうばえのみち富士見が丘公園愛護会



公園の特徴

生活道路としてだけでなく、四季折々を楽しめる散歩道としてウォーキングをする方の姿も見受けられる、利用者の多い緑道です。また、ゆうやけ橋からは、とても美しい富士山が見えます。

活動の紹介

公園愛護会が中心となり、毎週火曜日に20人前後の参加者で、緑道である富士見が丘外周の清掃活動を行っています。ご年配の方が多いため、活動に参加することで、お互いの安否確認にもなっています。

定期的な清掃以外にも、小学校との交流や地域とのコミュニケーションを通じて絆づくりに貢献しています。川和東小学校の1年生から6年生とは、「たてわりふれあい緑道そうじ」を通して交流を図り、子供たちへのマナー啓発も行っています。

ほかの公園でも共通するペットのフンの問題以外にも、緑道ならではの悩みがあります。緑道は公園なので、原則自転車からは降りて歩行するのがルールですが、なかなか周知されていないため、土木事務所と相談をして、看板を立てるなど対策に取り組んでいます。

また、中低木の剪定を行い、清潔かつ安全、安心に利用できるような緑道の環境づくりに励んでいます。その結果、多くの人たちが生活道路や憩いの場として利用しています。

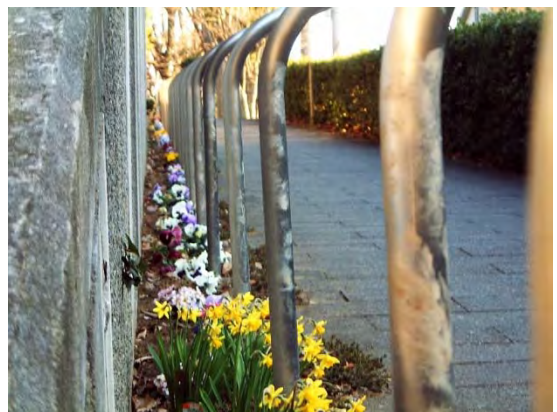
活動の様子



清掃活動の様子



中低木の剪定の様子



緑道沿いにも花を植えて憩いの場を演出

◇ 活 動 公 園 ◇

加賀原一丁目49 / ゆうばえのみち(緑道)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和62年12月5日



戸塚区 大正公園愛護会



活動の様子



月に1回、一斉清掃を行っている



清掃活動の様子



園内は、いつもきれいに整えられている

公園の特徴

桜の木が多い公園で、花見の時期には訪れる地域住民も多く、所々でお弁当を広げたりしてくつろぐ姿が見受けられます。

月・水・金曜日は老人会を中心にグラウンド・ゴルフで活用されています。午前中は老人会、午後は子供会を中心によく使われています。子供たちがいつも活発に跳ね回っている明るい公園です。

活動の紹介

愛護会が中心になり、二つの地元自治会(芙蓉ハイツ、深谷団地)と連携を図りながら清掃等の活動を展開しています。

活動は、毎月第一土曜日に、清掃や除草、花壇の手入れを中心に行っています。

以前は、子供会が中心となって活動していましたが、4年ほど前に少子化の影響で解散寸前になってしまいました。しかし、この頃、ボランティア活動の会「のぞみ会」立ち上げと相まって老人会が活動に参加するようになり、子供会との連携が進み、現在では活動を円滑に進めています。

老人会が活動に加わったことで、中低木の剪定もしっかり行われるようになりました。ほかにも、この老人会の中心で、戸塚区公園愛護会連絡協議会も兼ねているメンバーが、メインになり刈払機を使った草刈りを適宜行っています。

愛護会だけでなく、住民全体に積極的に働きかけを行ってきており、多くの方が、清掃活動に参加しています。

また、ほかの公園で行われる市の技術支援講習にも積極的に参加し、活動に生かしています。

◇ 活 動 公 園 ◇

原宿四丁目26 / 大正公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和50年6月5日



戸塚区 鳥が丘第二公園愛護会



公園の特徴

平成25年度の再整備後、樹木も整然と刈り込まれ、清潔で安全な状態を維持しています。

健康遊具や車椅子での利用にも配慮された公園となっています。夏祭りの神輿の拠点やウォーキング講習の場にも利用されています。

活動の紹介

剪定の上手い人、花に興味のある人、清掃をこまめにやる人など、それぞれ会員の得意分野を生かし、自主性を重んじて、会員の都合の良い時間に活動を行っています。

地域との連携もうまくいっており、地道な活動が実り、会員も徐々に増えています。

鳥が丘小学校や上矢部高校の地域貢献活動の一環として、児童や生徒と一緒に年1回公園清掃を行っています。

特に、鳥が丘小学校の児童は、1年生と6年生の組み合わせで、6年生が1年生の面倒を見ながら一所懸命清掃活動を行っています。

公園内外の清掃や除草、水やり、堆肥の補充、花壇や砂場の手入れも、会員の自主性を生かして定期的に行っており、きれいな公園を維持しています。

また、手間のかからないヒマワリ、朝顔、寒咲き菜の花、葉牡丹など花苗をポットから自分たちで育てて、花壇に植えています。

活動の様子



清掃活動の様子



子供たちとの活動も活発



地域のお祭りの様子

◇ 活 動 公 園 ◇

鳥が丘42-1 / 鳥が丘第二公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和59年1月25日



戸塚区 平戸坂下公園愛護会



活動の様子



「ふるさと」を感じられる地域を目指している



中低木の剪定をする様子



清掃が行き届いた園内

公園の特徴

小さいながら、落ち着いた雰囲気のある公園です。芝生も更新され、とてもスッキリした公園となっています。

また、常にきれいに維持されており、老人会や子供会の利用も多い公園です。

活動の紹介

清掃や草取り、花壇の手入れは、地域を3班に分けてそれぞれ世話人を決め、月別に当番制にして、毎月第二火曜日を定例活動日として月1回30人前後で実施しています。

そのほかにも、毎日のように公園清掃をしている愛護会員がいて、公園はいつもきれいになっています。

活動の年間スケジュールを立案し、清掃、剪定、花壇づくりなど、いつ、誰と、何をするかを明確にし、それに沿っての活動が組織的に行われています。

会長は、公園をベースに地域住民がこの公園で「ふるさと」と感じられるような地域にして行きたいと、様々なイベントを企画し、夢を持って活動しています。

老人会と子供会を巻き込んで、芋煮会や夏祭りなどを年に何度か開催し、活発に公園利用を図っています。

会長は、これらの活動を地域住民のお互いの交流や理解・絆を深める良い機会と捉え、会員を増やしています。

◇ 活 動 公 園 ◇

平戸町484-3 / 平戸坂下公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和53年6月24日



いたちがわ

栄区 颯川公園愛護会



公園の特徴

颯川公園は、遊具のある上段と美しい花壇と東屋のある下段とに分かれています。道路に面した斜面を利用しているので、庭園のような趣のある公園です。

活動の紹介

近隣の大型マンションの自治会が母体となり、住民が一体となって美化活動に力を入れています。

月1回を会員の定例活動日として、清掃や花壇の手入れ、中低木の手入れをしています。そのほかにも、有志で清掃や水やりなどの日常的な活動を続けています。

花壇には常に季節の花が植えられ、手入れも行き届き、きれいに整えられています。

また、子供たちが道路に飛び出すのを防ぐために、マンション敷地内の竹を利用して、外周柵の一部を手作りで設置しています。

自然の竹を利用していることで、東屋や敷石などとの調和も美しく、公園のイメージアップにもなりました。

日頃から樹木の管理にも気を配っています。樹木の状態を日常的に観察し、枯れ枝や繁茂などの情報を速やかに土木事務所に伝えて、事故防止に努めています。

今年度は、さらにオリジナルの樹名板を作成するなど、樹木や公園を大切にしたい気持ちを利用者にもアピールしています。

また、自治会の防災訓練や夏休みのラジオ体操に協力するなど、地域の絆を深める取組を行っています。

活動の様子



マンションの住民が中心になって活動



手作りの竹柵



季節の花が咲き、手入れの行き届いた花壇

◇ 活 動 公 園 ◇

上郷町1151-126 / 颯川公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和58年6月4日



泉区 中田町第五公園愛護会



活動の様子



朝から清掃活動を行う会員たち



パトロールも兼ねている



安全な公園を目指して活動している

公園の特徴

公園は、樹齢30年以上ある桜の木に囲まれ、南側の広場は約20^坪四方あり、ゆったりと遊ぶことができます。

公園隣地には、中下山百合自治会館と中田学童保育所があり、近くには保育園が二つあります。広場や遊具は、一日中、遊ぶ子供たちで賑わっています。

活動の紹介

朝7時半から始まる清掃活動は、愛護会と隣接町内会が一緒になり、月5回年間を通して行われ、地域が一体となった活動として定着しています。

登校時間と同じ時間の清掃活動は、パトロールも兼ねて行われており、子供たちと挨拶を重ねることで、コミュニケーションも図れる場となっています。また、出勤する地域の方々と顔を合わせ、挨拶の交わせる場ともなっています。

愛護会は、子供が楽しく、気持ちよく、のびのびと遊べるように、常に除草や清掃活動を徹底して、公園の美化に努めています。毎月第四金曜日には「みんなで外で遊ぼう」と題したイベントが開催され、地域の拠点となっています。

常にきれいな公園では、少し離れたところにある泉区地域子育て支援拠点「すきっぷ」が、園内で趣向を凝らしたイベントを開催するのが恒例となっています。また、中田学童保育所も毎回イベントに参加し、秋に行われるバザーは、多くの人が集まる一大イベントとなっています。

学童の子供たちが公園を利用する際には、指導員の方と一緒に、公園を汚さないなどのマナー啓発にも取り組んでいます。

将来、子供たちが地域活動の担い手として、愛護会やそのほかのボランティア活動などに積極的に参加する日を楽しみに、愛護会のメンバーは日々活動を続けています。

◇ 活 動 公 園 ◇

中田西三丁目14 / 中田町第五公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和51年3月30日



瀬谷区 阿久和大原公園愛護会



公園の特徴

緑豊かな長屋門公園が隣接しており、大きなケヤキの木があります。平成18年に愛護会が発足して、地域の皆さんの声かけや協力で、さらに明るく花いっぱいの公園になりました。

活動の紹介

定期活動日のほかに、自治会と連携して随時清掃をしており、花壇づくりや中低木の剪定も行っています。

花壇への植え付けのほか、随所に花が植えられており、花いっぱいの公園です。子供会と協力し、花植えや公園内のメッセージ表示看板の作成もしています。また、中低木の剪定も行っています。

以前から、花がたっぷりの明るい公園ですが、今年度、市の技術支援を受けて老朽化した花壇枠の作り替えを行い、ますます明るくきれいになりました。

希望ヶ丘小学校と年2回ふれあい清掃を行っています。その中で利用マナーの指導もして、交流を重ねています。これからも近隣小学生と連携した活動と愛護会の活性化が、楽しい愛護会です。

愛護会の皆さんは通りがかりの人たちにも気軽に声をかけるなど、あいさつを心がけています。活動を通して住民同士の親睦が深まっています。

こうした愛護会のメンバーのおかげで、会長はいつも素敵な公園になっていると感じています。人と人の関わりと支えを大切にしながら、地域の方々が一丸となって公園をきれいにしています。

公園に愛着を感じ、自然など四季折々の発見の中から工夫し、知恵を出し合って愛護会活動を盛り上げています。そして、楽しみながら継続していくことに確かな手ごたえを感じています。

活動の様子



花壇枠の作り替えの様子



新しくなった花壇と会員たち



子供たち手作りのメッセージ表示看板

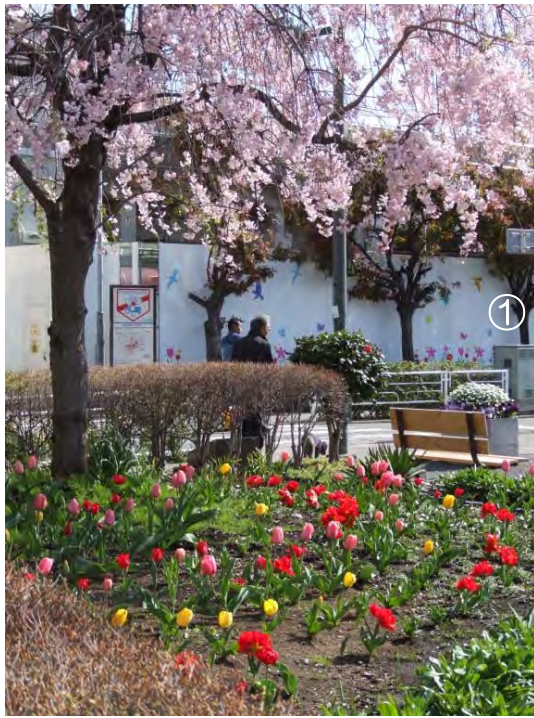
◇ 活 動 公 園 ◇

阿久和東一丁目44 / 阿久和大原公園(街区公園)

◇ 公園公開年月日 ◇

昭和62年6月25日





表紙写真：神奈川県 菅田公園 保育園児と花壇づくり
裏表紙裏写真：東京都 葛飾区 ささぶねのみち長坂地区 夏の水辺
裏表紙写真①：神奈川県 保土ケ谷区天王町駅前公園 春の花壇
裏表紙写真②：神奈川県 瀬谷区阿久和大原公園 メッセージ表示看板
裏表紙写真③：神奈川県 旭区善部町第一公園 花壇の様子

平成26年度 横浜市公園愛護会表彰

発行 横浜市環境創造局公園緑地維持課

〒231-0017

横浜市中区港町1-1

TEL：045（671）2650

FAX：045（633）9171

E-mail：ks-aigokai@city.yokohama.jp

平成26年11月発行



横浜市環境創造局

